

第3回 国際理解講座「暮らす人」 ドキュメンタリー映画



講師: 山田 勇人 監督

2020/1/12 教育センター



職業体験バス旅行
KidZania Koshien
26th.MAR.2019

三木市在住の山田勇人監督が市内在住の外国人を密着取材し、彼らの日本での生活、思いを映像にしたドキュメンタリー映画を上映しました。日本語を習得することに苦労したこと、いつも母国の家族に思いを馳せていること、日本での生活に馴染もうと前向きに、ひたむきに生活する彼らの姿勢が伝わり、会場は感動に包まれました。また、在日1年半のラオス出身の方が司会を務め、「外国人のことをもっと知ってほしいです」との言葉で会を閉じました。(詳しくは次の2ページ目に掲載しています)

三木市に暮らす外国人の数
1,803人 (2020年1月末)



世界の国のコンニチハ⑨
～インド編～

ヒンドゥ語

नमस्ते
(ナマステ)



監修: マヘンドラ クマール パールさん
サニーさん

第3回国際理解講座

第1部 「暮らす人」上映



第2部 山田勇人監督&市内在住外国人トーク



第2部では山田監督とドキュメンタリーに出演した外国人を交えたトークを行いました。三木市在住のブラジル・インド・ベトナム・インドネシア出身の外国人の皆さんが生活の中でうれしかったこと、困ったことなどを日本語で語りました。また、将来の夢で「三木市の金物を母国に紹介するために頑張っています」との

発言もあり、日本と母国の架け橋として活躍する姿が目に見え胸が熱くなりました。日本で当たり前であることが世界では当たり前ではないことに気づき、広い視野を持つことの大切さに改めて気づく機会となりました。



参加者の感想

私が山田勇人監督の映画制作を知ったのは、日本語教室で実施されたムービークラスでした。そこで、私は日本語ボランティアとして、国際結婚をされたラオス出身の女性を支援しました。彼女は、公園や遊園地、幼稚園で遊び、成長している子供たちのムービーを撮り、ラオスの両親に見せることを決めました。日本語教室の外国人学習者を代表して上映会の司会を担当された方です。

この作品は、三木市に在住する外国人の生活を映し出すことで「我々日本人が、どう形成されているのか、初めて考える機会になった」と監督の山田勇人さんは語っておられ、彼の取材の態度・スキルについては、支援活動をしている者として尊敬し、また参考にして、今後の活動に生かしたいと思っています。（片岡 紘一さん）

映画に参加できたことは本当に名誉なことでした。他の参加者の体験談を聞き、感動しました。参加者によって提起された問題を聞いていると、様々な困難に耐えていると知り、驚きました。

家族から離れ、情報源が不足しているにもかかわらず、皆さんはあらゆる努力をしています。ハオさんの国際結婚で直面する課題を知りました。また、ジムのインストラクターになり、健康的なライフスタイルについて人々に教えるというアディさんの夢に非常に勇気づけられました。今、私はすべての参加者と特別な絆を感じています。

山田監督・彼のチーム・三木市国際交流協会に感謝しています。（マヘンドラ クマール パールさん/インド出身）

映画の中で、三木市に暮らす外国人が体験したことを、いろいろまなびました。 私たち外国人の日々の暮らしで、それぞれの困ったことを聞くことができ、上手く行かなかった事など、大変な様子もわかりました。私たちは、愛、団結、希望、再生の下、いろいろと頑張っている友達に囲まれている事に気付きました。この希望の光が私たちの心から消えませぬように。M I Aの皆さんへ感謝します。（スエリ フェレイラさん/ブラジル出身）

COOL MIKI

T.T 亭りゅうくん、現役高校生の素人演者で始まった今年の「英語 de 落語」。初舞台にもかかわらず、声色を変えたり、大きな身ぶり手ぶりのジェスチャーをしたり、堂々と立派に演じられました。

また、プロの笑人さんの落語と参加型ワークショップ、大人気のダイアン吉日さんの熱演に会場は何度も笑いに包まれました。日本の伝統芸能の素晴らしさを再認識したと同時に英語の習得にも役立ったイベントでした。

2部の「日本語 de 発表」には5か国5名の外国人が発表されました。



第1部

英語 de 落語

第2部 日本語 de 発表

① マヘンドラ クマール パール (インド)



「温故知新」

万国共通のジェネレーションギャップについて感じたこと、日本でできた年上の友達について話しました。(2012年来日)



② シンチャン ヌック (ベトナム)



「はじめての一人暮らし」

日本での生活の大変さ、人との出会い、交友の大切さを話しました。(2019年来日)



③ シュクル アディ ジャヤ (インドネシア)



「インドネシアってこんな国」

歌が大好きで歌詞を覚えることで日本語が上達しました。母国インドネシアについて紹介しました。(2017年来日)



④ マディソン レヴィス (アメリカ)



「私の特別な日本の友だち」

三木市での生活と、来日のきっかけとなった日本人女性との友情について話しました。(2019年来日)



⑤ スラット ラシャプシー (タイ)



「日本でショックを受けたこと」

違う言葉文化習慣に困ったことがありましたが頑張っています。(2017年来日)



参加者の感想

令和2年2月2日の記念すべき日にCOOL MIKI「日本語 de 発表」が行われた。

5人の発表者からは上手な日本語で来日時の様子や日本に溶け込んでいった様子が良く伝わった。ダイアンさんの講評は専門家らしく、話題も豊富で的確であった。来場者からの質問では、ボランティアの教え方の悩みには共感し、小学生からの鋭い質問には感心した。インフルエンザで参加できなかったシリアの小学生の発表が聞けなかったのは残念であった。発表者の皆様、お疲れ様でした。(奥津 脩一郎さん)

インターナショナルパーティー



三木市在住の外国人を招いて、年末恒例のパーティーが開催されました。今回は、より国際色を強調するため、名称をインターナショナルパーティーと改め、16の国から82名の外国人が参加されました。全体

では、前年を大きく上回る190名近くが参加され、交流の輪を広げました。宮永会長による開会のあいさつに続いて、日本の着物に袖を通した外国人の方々が紹介され、一人ひとり日本語で自己紹介を行いました。

会食が始まると、参加者の皆さんは外国人、日本人の区別なく、思い思いに集まって、それぞれの国の紹介や、日本での生活などについて歓談しました。そして、いよいよミニコンサートが始まり、インドネシア、ブラジル、インドなど、さまざまな国の方たちが歌やコメディを披露しました。中には、日本人顔負けの流ちょうな日本語でヒット曲を披露される方もいらっしゃいました。その他、安来節や、大道芸、最後に市職員や協会スタッフによるパフォーマンスが始まると、参加者の皆さんもステージに上がり、いっしょにボリウッドダンスを踊り、大変な盛り上がりとなりました。

パーティーを通じて楽しい時間を共有することで、言葉の壁を乗り越え、お互いをより深く理解し、尊重しあうことの素晴らしさを感じてもらう機会になったのではないのでしょうか。



参加者の感想

インターナショナルパーティーにさんかして、とてもたのしかったです。

いろんなくにのひとのはなしをきいたり、ダンスをみたり、おんがくをきくことができました。それから、がいこくじんのひとが、にほんのうたをじょうずにうたっていたので、びっくりしました。いろんなくにのひととであえるパーティーで、らいねんもできればさんかしたいとおもいます。（中尾ブラパッソンさん/タイ出身）

防災マネジメントについて

関西国際大学のグローバルスタディの一環で外国人会員14名と大学生が共に防災について学びました。センターで過去の震災の映像や資料を見た外国人は「地震は怖い」と口々に言っていました。その後、次第に自分や家族の身を守るためにはどうすればよいかという、防災への意識が高まっていったようでした。その翌日にグループに分かれ、地震だけでなく風水害への防災に関してもお互いの意見を述べ合いました。2月17日には外国人から聞いたことをもとに、大学生がテーマ別に発表を行い、それを外国人が見学しました。

外国人と大学生のお互いにとって有意義な時間を持てたように思います。



多文化共生理解講座 人権推進課との共催事業

キッズインターナショナル ～タイってどんな国?～



在日28年、3人の子どものお母さんであるプラパッソンさんからタイの文化や習慣などの話を聞きました。タイでは、誕生日によって色があり、子どもたちは自分の色を知りました。タイ語も教えてもらい、自分の色のマーカーでタイ語の名前を書き、世界に一つのブックマークを完成しました。



講師 中尾プラパッソンさん

出前講座

ダサイン 2019/10/8 広野集会所



ネパール最大の宗教的な祭りが三木市在住のネパール人によって初めて開催されました。この祭りはコミュニティの絆を深めるためのイベントで、正装した人々が儀式や舞踊などで祝いました。

はコミュニティの絆を深めるためのイベントで、正装した人々が儀式や舞踊などで祝いました。

吉川町ことぶき学級 「私の故郷シリアについて ～ふるさととは遠きにありて思うもの～」



講師 ナーフ兼寛さん

2019/11/13 吉川町公民館

日本に帰化して数年が経った今、母国に残る家族を思いながら、母国の紹介をしました。メソポタミア文明から現在に至るまで、世界遺産やオリーブ産業など、また、人々の生活についても触れました。最後に参加者はアラビア語で世界に一つのブックマークを作りました。

"あったかいいって いいな大会"



スピーカー チャンバトグス サイハンさん (モンゴル出身)
グエン ティースーン タインさん (ベトナム出身)

2019/12/14 吉川町公民館

三木市の多文化共生社会を推進する立場で、事務局が現状を報告しました。その後、吉川病院に勤務のモンゴル人とベトナム人の技能実習生から三木市に暮らしてというテーマで話を聞きました。職場では盛大な歓迎会を催してもらったり、親切に指導してもらったりと、困ったことはないですが、地元の人々と友だちを作り、交流の輪を広げたいと話しました。

異文化交流会 「ハラル料理」について知ろう



講師 サミア アルイマムさん

2020/1/26 西脇地区人権教育協議会

在日4年、4人の子どものお母さんであるサミアさんが、シリアの歴史や世界遺産などを紹介、そして食文化では、宗教に基づいた材料で作る家庭料理を教えました。ケバブでは、マトンを初めて食べた人にも好評でしたし、レンズ豆のスープは分量によってポタージュになったものの、濃厚な味を楽しみました。参加者は食を介しての異文化交流に満足していました。

ブラジルの紹介



講師 スエリ フェレイラさん 2020/2/7 三樹小学校

在日18年のスエリさんが小学1年生と3年生に母国ブラジルの紹介をしました。約100年前に移民船でブラジルに渡った日本人がいたので、その子どもたちが大人になり、来日し生活していること、また現在のアマゾン地域の学校の様子などを子どもが理解しやすいように説明しました。ポルトガル語で数を数えたり、クイズに答えたりし、未知の世界を知るきっかけになりました。

「みんなでテニスの楽しさ体験だ!~世界の人と友達になろう!」

三木ロータリークラブとの共催で、三木市で生活されている外国の子どもと日本の子どもが、いっしょにテニスを楽しむことによって友達になろうというイベントが開催されました。シリア、ベトナム、フィリピン、中国、カナダにルーツを持つ子ども達12名が参加しました。テニスが初めてという子どもたちも、プロのコーチの指導を受けて、すぐにラリーができるようになりました。一日だけの短い時間ではありましたが、スポーツの楽しさ、友達と一緒に汗を流すことの楽しさを学ぶことができたと思います。



2019/12/1 吉川総合運動公園

吉川グラウンドゴルフ大会



心地よい日差しの中、当協会から外国人を含む計11人が吉川町の

グラウンドゴルフ大会に参加しました。初心者ばかりでしたが、ルールがとても分かりやすく子供から大人まで皆で楽しむことができました。親切にご指導してくださった地元の方々、本当にありがとうございました。

2019/12/15 三木城跡~ナメラ商店街

野菜もって走らん会 in ナメラ



初出場のタイ出身の男性陣、毎年参加のフィリピン出身の男児、インド出身の男性とイギリス出身の

男性で編成された混合チームが、協会のTシャツを着用し、士気を高めました。毎年、終了後は全員が獲得した野菜を広げ、公平に分配します。出身国によっては食べない野菜もあるので、各国の食文化がわかり、異文化理解の意味合いも兼ねた興味深い事業でした。

三木市立広野小学校「大空学級」から寄附をいただきました。

大空学級の皆さんが、種から育て、収穫した小麦を使い、ピザを焼いて販売。その売上は協会を介して、姉妹都市交流を続けるオーストラリア州の山火事の被害者支援へ寄附しました。



ご協力いただいた法人会員・団体会員様(敬称略)

医療法人社団一陽会服部病院・(株)あど印刷工房・
(株)五百蔵製作所・(株)オービス・(株)岡田金属工業所・
(株)カネミツ・(株)ゴコー住建・(株)神和商事・(株)高階・
(株)トップマン・(株)ナリス化粧品・(株)ヒロノテック・
(株)前田精版印刷所・(株)ミヤナガ・(株)裕商事・
三陽金属(株)・社会福祉法人寿光会りんどうの里・
小藤貴雅会計事務所・誠和鋼販(株)・永尾かね駒
製作所・野澤産業(株)・ヒマサ金物(株)・ポリーライフ
ケアサービス(有)・(有)親和創美

関西国際大学・県立三木北高等学校育友会・県立三木高等学校・
県立三木東高等学校・県立吉川高等学校・(NPO)国際エンゼル協会・
三木金融協会木曜会・三木工場公園協同組合・三木高等学校
育友会・三木金物商工協同組合連合会・三木市社会福祉協議会・
三木商工会議所・三木市小学校・特別支援学校校長会・三木市
中学校校長会・三木中央ライオンズクラブ・三木みどりロータリー
クラブ・三木東ライオンズクラブ・三木山人と馬とのふれあいの森
協会・三木ライオンズクラブ・三木ロータリークラブ・吉川町商工会・
(公財)PHD協会

平素より当協会の事業にご理解、ご支援いただき誠にありがとうございます。



どうわきょういくせみなー りれーとーく ばっすい
同和教育セミナーにおけるリレートークの抜粋

 **名前は何ですか。国はどこですか。どれくらい日本に住んでいますか。**

ばたく ざなつく ねばーる しゅっしん
パタク ザナックです。ネパール出身です。

ねん らいにち ねん
2009年に来日、10年です。

 **どうして日本に来ましたか。(来日理由)**
しこと
仕事のためです。

 **日本に来る前と来た後で違ったことはありましたか。**

ぼこく ちゅうがっこう にほん だい じ せかいたいせん で
母国の中学校で、日本は第2次世界大戦で負けた
のに、がんば ぶつかつ まじめ くに なら
頑張って復活した真面目な国だと習った。その
とお おも
通りだと思う。

 **母国と日本で同じこと、違うことは何ですか。**

おな やさ ひと おお
同じことは優しい人が多い。
ちが じかん かんねん ちが ゆうじんどうし ふん
違うことは、時間の観念が違う。友人同士であと5分
いたら行くのは30分後。お互い様で怒らない。

 **うれ 嬉しかったことを教えてください。おし**

よ くに にほん く し す て む ととの
良い国日本で暮らせること。システムが整っている。
ね ばーる い き なかま
ネパールを往来する仲間ができた。

 **こま 困ったことを教えてください。おし**
いや おも
嫌な思いをしたことでもよいです。

らいにち にほんご くろう りかい
来日したころは日本語で苦労した。理解できなかった。

 **とき その時、どうしましたか。**

えいご にほんご まじ かいわ ほうほう み つ
英語と日本語を交えて会話をする方法を身に着けた。

 **ぼこく 母国について思うこと おも**

にほん 日本のようにしてほしい。じかん まも こ
時間を守ること、子ども
しょうらい かんが せいど
の将来を考える制度など。

 **しょうらい 将来、どうしますか、何をしたいですか。 なに**

にほん がんば にほんじん ねばーる しょうかい
日本で頑張る。日本人にネパールを紹介したい。

 **その他 例：日本人に伝えたいこと、言いたいことなど。 た れい にほんじん つた い**

し ぜん ゆた ひ ま ら やさんみやく
自然豊かなヒマラヤ山脈、
ぶつだ し
仏陀などを知ってほしい。



多文化共生社会において、 外国人とコミュニケーションを図るには…

- ★ ことばの壁を越える⇒やさしい日本語を使う。言葉だけでなく、ジェスチャーや絵を描く等
- ★ 心の距離を縮める⇒相手の話に耳を傾ける、文化習慣を理解する等

やさしい日本語とは… 正解はありません。外国人に理解してもらおうという姿勢で、ゆっくりと簡単な言葉を選んで話します。また、主語や目的語をはっきり伝え、文末は「…です。」「…ます。」でしめくくります。

- ① お名前を教えてください。→ あなたの名前はなんですか。
- ② お住まいはどちらですか。→ あなたの家はどこですか。
- ③ 日本に住んで何年ですか。→ あなたはいつ日本に来ましたか。
- ④ 危険ですから、走らないでください。→ 走ります。ダメです。
- ⑤ 明日は暑いかもしれないので、飲み物をご持参ください。→ 明日は暑いです。水を持ってきてください。

多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。
(総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より)

ことばの教室受講生募集

教室：英会話（入門から実用まで）韓国語、
中国語、日本語（外国人向け）

三木市国際交流協会

検索

詳細はチラシ、HPやFBで
ご確認ください。



はなみ
花見をしましょう！

いつ：3月のおわりころの日曜日
じかん：11:00～
どこ：みのがわ
(ちゅうおうこうみんかんの
ちかくのはしのした)
もってくるもの：のみものなど
※COVID-19あるとき、できません。

多文化共生社会のための 日本語ボランティア養成講座 “外国人の日本語学習のお手伝いをしませんか”

日程 4月11日(土) 10時～15時

場所 中央公民館講座室

内容 日本語ボランティアの心得、学習方法、実習など

参加費 会員 無料、一般1,500円

べっしょ こう はる おしやぎょうれつ さんか 別所公春まつり～武者行列に参加しましょう～



さむらいの服を着て
三木の町を
歩きましょう！

いつ：5月5日(火・祝日)
どこ：三木城址



ドキュメンタリー映画

暮らす人と

在日外国人を
取材して
知ったこと、
感じたこと

総会記念講演

参加費
無料
要申込み

講師 山田勇人さん

とき 5月22日(金) 総会 14:00 記念講演 15:00

ところ 三木市教育センター 4階 大研修室

第1回国際理解講座

「うんどうかい
～スポーツしましょう!～」

オリンピックイヤーに多国籍
の人々と交流しましょう。

とき 6月28日(日) 時間未定

ところ 三木南交流センター大会議室



2020年度姉妹都市訪問団員募集

ホストファミリー宅
に滞在し、現地の学生と
一緒に授業を受けるなど
の草の根交流をします。

行先 オーストラリア、フェデレーション市

期間 2020年8月20日～27日

※募集の詳細は協会HPや市の広報
などでご案内します。

FMみっきい放送



76.1MHz 水曜日12:35～
英語de落語・日本語de発表

編集あとがき



令和元年度も会員の皆様のご協力のもと、ほぼ全ての事業を終えることができました。
心から感謝申し上げます。

今年度は、新企画として会員で映像クリエイターの山田勇人さんとコラボし、三木市の
在日外国人を追ったドキュメンタリー映画制作に取り組みました。協会の事業で行われ
る異文化交流の様子を1年かけて撮影し、外国人会員への取材を重ね、作品を作り上げ
ました。この作品を観て、立場の違う外国人の意見や思いを知る機会になり、「我が身を
つねって人の痛さを知れ」を実感しました。

外国人のための生活相談では、家族帯同で来日した全く日本語を理解できない保護者
と子どもの事例が増えています。日本語で意思疎通ができなくても、丁寧に対応し、真剣
に取り組むことを信条にしたいと思っています。

2020年度は、外国人との共生社会を青写真だけでなく、実践に移すことで推進してい
くよう啓発を続けていく所存ですので、ご理解ご支援のほどよろしくお願いします。

編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30(三木市役所4階)

【TEL&FAX】(0794) 89-2318

【E-mail】kokusai@city.miki.hyogo.jp

【HP & facebook】

三木市国際交流協会

検索